The 2 Chome Times ２０２６年　９月号

NO1 のプレミアムストリートをめざして

ＮＯ３４０号.

２０２６年・９月・２５日

発行　神戸三宮センター街２丁目商店街振興組合（tel331-3091）(fax333-8591)　　２丁目タイムス　９月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄　https://www.centergai2.com　Ｅ-mail:centergai2@nifty.com

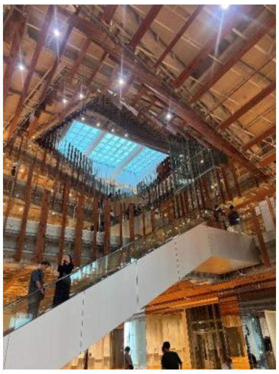
フェイスブックでも発信しています https://www.facebook.com/centergai2/

２丁目で KOBE　Free Wi-Fi ご利用いただけます

★2 丁目研修旅行 越中八尾・金沢卯辰山 歴史と文化を創り繋いでいく凄みを体験する旅

9 月 3 日～5 日、富山県と石川県に研修旅行に行ってきました。

・**1 日目：**富山では隈研吾氏が設計した「富山ガラス美術館」を見学。木製ルーバーが無数に配置されたデザインに隈さんらしい温かさを感じるとともに、1 階から 6 階までの吹き抜けの「見通しの良さ」に圧倒されました。夕方頃から雨模様でしたが、八尾の風の盆 まち流しが始まる 18 時には雨も上がり、予定通り開催されました。これまでも久利理事長を中心に度々訪問させて頂き、交流を続けてきたこともあり、特別に「お座敷おわら」を観覧させて頂くことができました。ゆっくりとしたしなやかな動き、指先まで神経が通った凛とした空気。八尾の町の人々が創り、守り、育て、繋いできた文化を目の前で体験し、歴史の重みと豊かさを感じることができました。



・**2 日目：**この旅のもうひとつのメインである、金沢「卯辰山工芸工房」へ。加賀藩 前田利家公から始まる壮大な工房の成り立ちについて館長の川本様から直々にご講義頂きました。その歴史、そして今でも市民の皆さんの前田家への尊敬があるからこそ、立派な公の工房を構えて継続されていることがよくわかりました。特別に拝見した工房では若い作家の皆さんが熱心に創作活動に打ち込まれていました。「実は現在定員割れです」と仰る川本館長。なんと、試験で及第点に達していない人は例え定員以下であっても合格にならないそうです。まさに選ばれし優れた創作技術を持った人だけが使える工房なんですね。さらに卯辰山工芸工房の素晴らしいの点としては、出来上がった優秀な作品を東京などの展示会やギャラリーに出品し、販売までしているところ。修了後の作家活動に向けてもフォローされています。

・**3 日目：**金沢を訪れ、一番印象的だった有名な「石川県立図書館」。巨大な円形の閲覧スペースはもちろん素晴らしかったのですが、実はそれ以上に感動したのは入口の注意表示でした。注意事項がプロジェクターで映し出されていたのですが、中でも「おしゃべり OK」の表示にビックリしました。卯辰山で教えて頂いた加賀藩から続く金沢市民のプライドが「迷惑にならなければ、図書館で交流しても良い」という市民への信頼に繋がっているのだとわかり、金沢の街への私の眼差しがガラリと変わる音がしたような気がしました。今回の研修旅行を通して、如何にして「街の歴史や文化が積み重ねられていく」のか、思い知らされました。神戸三宮は今まさに我々の手によって歴史を作っているところです。八尾や卯辰山での体験を活かし、引き続き神戸ならではの歴史、文化を創り、積み重ねていきたいと気持ちを新たにすることができました。

★毛利マークさん、「トロフィーのチカラプロジェクト」で Kiss FM 神戸出演

家や団体で役目を終えたトロフィーをリユースして、子供さん達向けの活動団体に寄付をするという毛利マークの取り組み「**トロフィーのチカラプロジェクト**」ですが、2026 年はコベカツクラブやユースセンターなど合計 4 団体に寄付が決まり、現在リユーストロフィーの募集が行われています。2 丁目の理事で毛利マーク代表取締役の藤井さんがこのプロジェクトの広報で KissFM 神戸の番組「Joy Tune Radio」に出演されました。藤井

理事は「2019年迄はイベントなどの告知でラジオ出演をしていましたが、新しいスタジオであり、久しぶりの

生放送で緊張しました。ラジオは聴くのも大好きなので愉しくお話できました」と話されていました。私（井上編集長）は偶然、その出演コーナーを全て拝聴しましたが、藤井理事と人気 DJ 藤原岬さんの軽快なトークに乗って、楽しげな雰囲気と共に毛利マークさんのプロジェクトの趣旨がしっかり伝わってきました。ここで毛利マークさんの代表取締役　藤井氏としてのコメントをご紹介しておきます。「トロフィーは、その人の努力や時間が詰まった大切な存在です。昨年の取り組みを通して、受け取る喜びだけでなく、『渡すことの意味』の大きさを改めて感じました。表彰のある場が一つ増えることで、その活動の価値や記憶はより強く残るものになると考えています。このプロジェクトを通じて地域にそのような場が広がることを願っています」とのことです。
気になる方はどうぞ下記のホームページをチェックして下さい。
トロフィーのチカラプロジェクト（毛利マーク HP） https://www.mouri-mark.com/trochika.html

★新店舗紹介　KIM　JAKE　（キム・ジェイク）　さん、オープン！

2025年に仙台で日本初の実店舗をオープンし、乗りに乗っている KIM JAKE さんですが、2丁目にも新店舗

がオープンしました。店長さんからメッセージをお預かりしておりますので、ご紹介します。　『8月7日、神戸三宮にカスタム型キーチャームブランド「KIM JAKE」がオープンしました！KIM JAKE は、K-POP アイドルの衣装デザイナーが手がけるキーチャームブランドです。ブランドテーマは“ pick yourstyle ”。クリップ・チェーン・カラビナなどのベースを選び、お好みのキーリングやチャーム、イニシャルパーツを自由に組み合わせて、自分だけのオリジナルキーチャームを作ることができます。韓国のトレンドを取り入れ、その日の気分や好みに合わせて自由にカスタムできるのが魅力。組み合わせ次第で雰囲気も大きく変わるので、自分用はもちろん、プレゼントにもおすすめです。たくさんのパーツの中からお気に入りを見つけて、世界にひとつだけのキーチャーム作りをぜひお楽しみください。皆様のご来店をお待ちしております！』　とのことです。実際にお店を拝見させて頂くと、想像を遥かに超える魅力的なアイテムが所狭しと輝きを放っています。どうぞ皆様、是非ご覧になって下さい！
KIM JAKE 神戸店：神戸市中央区三宮町2丁目10番7号 グレースコウベビル1階
営業時間：10:00~18:50　　Instagram:@kimjake_jp

★編集後記

今回の富山・金沢訪問では富山市ガラス美術館にてガラス作家の津坂陽介氏にお会いしました。来年のストリートミュージアム収蔵式典では津坂氏の作品が新たに加えられる予定になっており、そのご挨拶も兼ねて久利理事長以下、数名で直接お会いし、歓談しました。話題は熊本地震が発生した直後の街の対応にも及び、久利理事長がいち早く多数のタオル類と赤福餅100箱を熊本にお届けしたこと、さらに街としても直ぐに熊本支援緊急募金活動を実行し、その結果106万円余りを熊本にお渡ししたことなどをお伝えすると、津坂氏はその素早い決断とスピード感に深い感銘を覚えられたご様子でした。街が常日頃大事にしている事は、決断を先延ばしにせずに、起こった事象への対応、街の運営に必要な選択・決定を拙速ではなくスピードを伴う緻密さを持って進めていくことです。これはある意味勇気も必要ですし、日本人の気質からして難しいことなのかもしれません。しかしながら、現代の様に目まぐるしく、複雑に社会情勢が変化していく中では必要不可欠な要素であると考えています。今後もこの方針で街の運営を進めていきますので、どうぞ皆様もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします

美しい街　共に歩む
ビルメンテナンスつるかめ管財株式会社　078-371-3589